



令和6年度 ITパスポート取得支援制度

1. ITパスポート試験について

- 概要
- 受験するメリット
- 活用事例

2. 県の制度紹介

- ① ITパスポート取得支援補助金
- ② リスキリング推進宣言制度
- ③ 人材開発支援助成金活用支援補助金

1. ITパスポート試験について

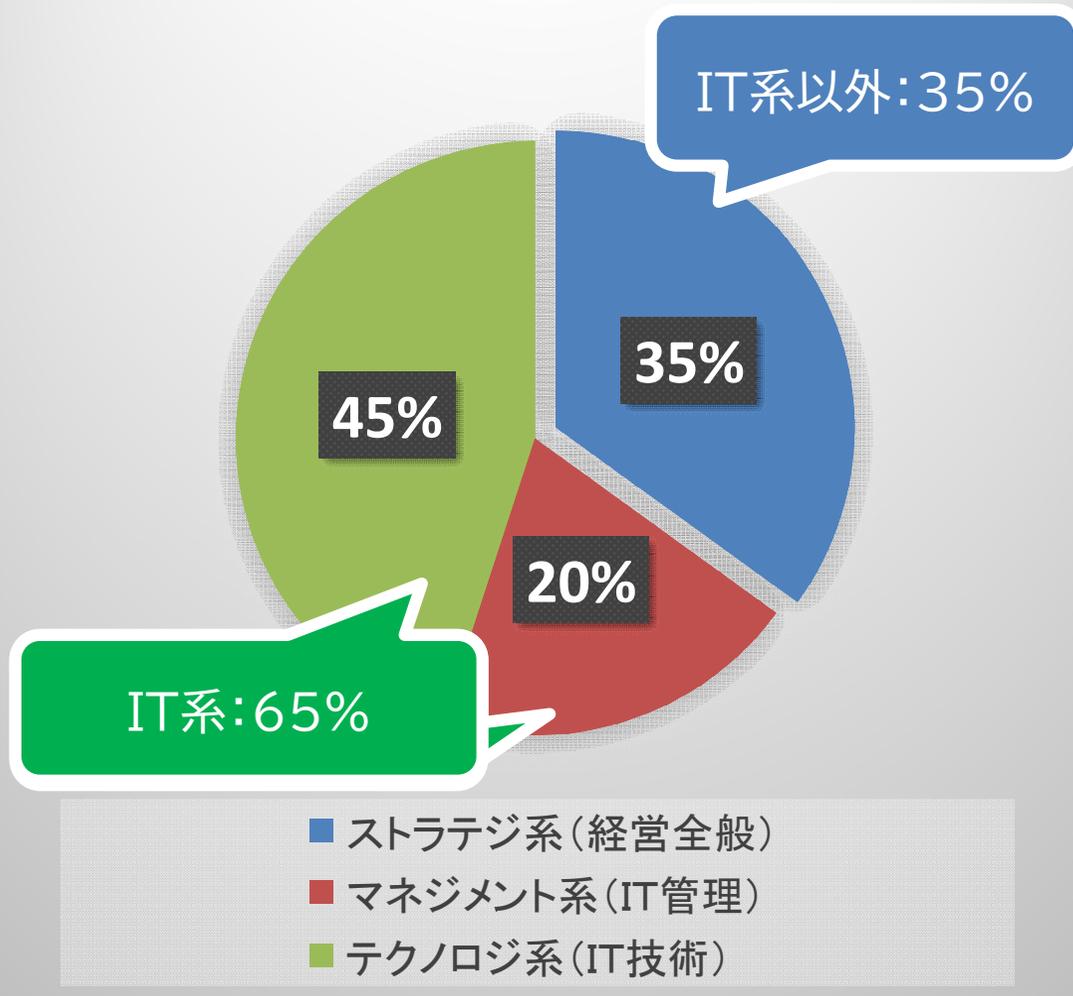
■ ITパスポート試験 (Iパス) とは

ITを利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる 国家試験

- ITは私たちの社会(業務・私生活等)の隅々まで深く浸透している
 - どのようなビジネスにおいてもITが関わる時代に突入
- ➔ ITパスポート試験に挑戦することで、ITを正しく理解し、業務に効果的にITを利活用することのできる“IT力”が身につく

I Tパスポート試験の出題傾向と試験概要

ITパスポート試験 出題傾向割合



【ITパスポート試験概要】

試験時間	120分
出題形式	四肢択一式(アイウエ)
出題数	100問
試験日	毎月複数回(主に土日)

合格基準	総合600点/ 1000点満点※
合格率	51.6% (社会人55.0%)
受験料	7,500円(税込)

※分野別評価点が
各300点以上/1000点満点であること

《出典》独立行政法人情報処理推進機構HP

■ 試験実施方法

– CBT(Computer Based Testing)方式

試験問題は会場のパソコン上で出題され、マウスやキーボードを操作して解答し、試験終了後すぐに試験結果を確認することができる。



試験結果レポート

受験日	2018年07月01日
受験番号	IP18999999
受験者名	試験 太郎

評価点		
総合評価点		700点
分野別評価点	ストラテジ系	610点
	マネジメント系	800点
	テクノロジー系	705点

合格基準		
総合評価点		600点 以上 / 1,000点
分野別評価点	ストラテジ系	300点 以上 / 1,000点
	マネジメント系	300点 以上 / 1,000点
	テクノロジー系	300点 以上 / 1,000点

問1 社内に設置された無線LANネットワークに接続している業務用のPCで、インターネット上のあるWebサイトを閲覧した直後、Webブラウザが突然終了したり、見知らぬファイルが作成されたりするなど、マルウェアに感染した可能性が考えられる事象が発生した。このPCの利用者が最初に取りべき行動として適切なものはどれか。

- ア Webブラウザを再インストールする。
- イ マルウェア対策ソフトのマルウェア定義ファイルを最新にする。
- ウ 無線LANとの通信を切断し、PCをネットワークから隔離する。
- エ 無線通信の暗号化方式を変更する。

解答欄 ○ア ○イ ウ ○エ

I パス 広島県内の試験会場 (1/2)



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

《広島市》



広島県広島市南区比治山本町16-35
広島産業文化センター11F

《福山市》



広島県福山市三之丸町30-1
福山駅構内サステーションテラス福山3F

《出典》独立行政法人情報処理推進機構HP

I パス 広島県内の試験会場 (2/2)

《東広島市》



広島県東広島市寺家駅前14-30
ノースサイドスクエア2F

※ 新設会場：令和6年11月1日（金）初回試験



ITの資格試験は技術者向けで、
事務職、営業職などには関係ないのでは…

IT社会・デジタル化が進む中で、
ITに関する基礎知識を企業の従業員全員に対して、
身につける・学ばせることが大切です！



ITリテラシー

AI
ビッグデータ

情報漏洩

新規ビジネス・
イノベーション

【メリット①】 試験勉強を通じ、幅広い分野の基礎知識が取得可能！

■ 情報セキュリティや情報モラルに関する知識が身に付く

- 社内システム(インターネット・電子メール等)を利用する際に、機密情報の漏えいやウイルス感染など様々なリスクがあることを理解できるようになる

■ 企業コンプライアンス・法令遵守に貢献する正しい知識の習得

- 知的財産権などに関する知識を知り、著作権侵害・商標権侵害など 法令違反や個人情報漏えいなどのリスクが理解できるようになる

(続き)

■ 経営戦略、財務など、経営全般に関する基礎知識が身に付く

- 「SWOT分析」「BSC」などの経営全般に関する知識や、
財務諸表・損益分岐点分析などの会計・財務に関する知識が身に付く
- ITを活用した業務の課題把握と解決力が養われ、業務改善につながる

■ 業務に必要なITの基礎知識が身に付く

- ITの基礎知識(情報システム、ネットワーク、データベースなど)が体系的に身に付き、
顧客、社内の情報システム部門、IT企業との円滑なコミュニケーション実現

【メリット②】 組織のIT力向上に！コンプライアンス強化に！

■ 社員一人ひとりにIT力が備わり、会社全体のIT力が向上

- 金融、メーカー、流通、電力・ガスなど、さらには農業まで、
あらゆる業種においてITは不可欠
- iパスを通じて習得したITの基礎知識を活かすことで、
業務にITを積極的に活用し、業務効率化を図ることが可能
- ITを取り入れた新規ビジネス・イノベーションの提案ができる人材を育成する
ことも可能

(続き)

■ 組織のIT力向上と、コンプライアンス強化に

- 企業リスクの「機密情報の漏えい」、「個人情報情報の漏えい」などの原因は、社員のシステム誤操作、部門内での確認漏れ・管理不徹底など、人的ミスがほとんど
- このような事態がひとたび発生すれば、社会的信用の失墜・取引停止など、企業にとって被害は甚大
- このような被害を未然に防止するためにも、会社全体の取り組みとして、iパスを活用 → ITに関する正しい知識とコンプライアンスに関する知識などをバランスよく身につけることができ、会社全体のIT力向上 と コンプライアンス強化につながる

■ 社員の人材育成に幅広く活用されている

<事例 印刷会社(共同印刷株式会社)>

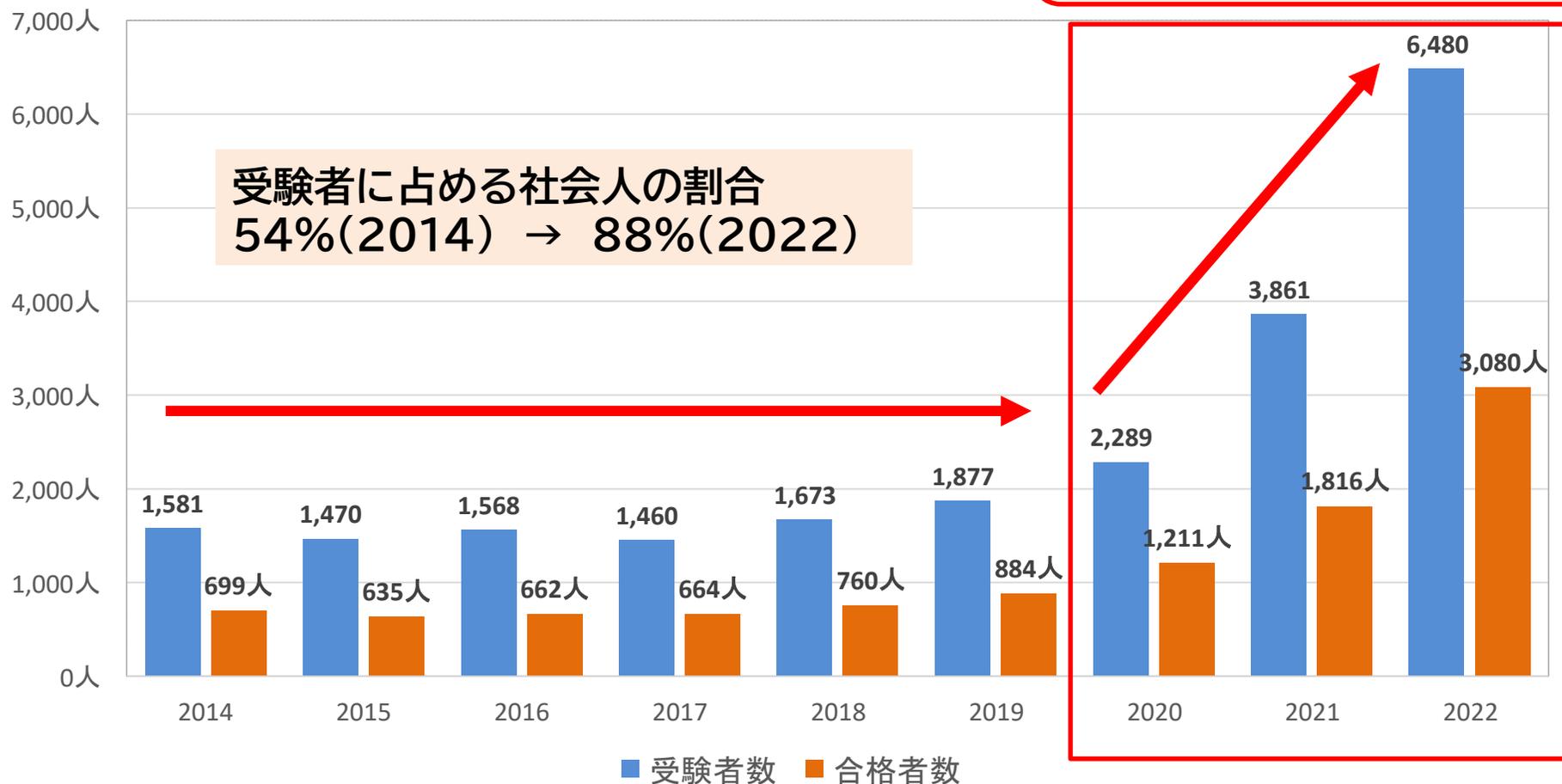
- ・電子メディアの普及など印刷業界を取り巻く環境は大きく変化しており、もはや印刷物だけを売ればよいという時代ではなくなっている。
- ・そのような中で、IT利活用に関する知識は職種を問わず必須であり、更には最低限の経営や経理に関する知識も備えておくべきと認識。
- ・**全社的にITパスポート試験の受験を推奨**している

➡ 社内全体でリスキリング(企業主体の従業員に対する学び直し)を行っている

I Tパスポート試験 受験者数の推移（広島県）

全国も
同様の傾向

受験者数・合格者数ともに
急激に増えている



《出典》 独立行政法人情報処理推進機構HPのデータを加工



Iパスは…

○直接的なスキルアップにはつながらない

例：ExcelのVBAの使い方など

➔ITリテラシー向上させることがIパスの目的

○エンジニア向けの試験ではない

エンジニア向け試験例：

基本情報・応用情報技術者試験

➔Iパス対象者：社会人全員 広く受験できる

Iパス勉強時間目安

☑ 基本知識なし：
100～150時間

☑ 基本知識あり：
20～50時間

※ 学習時間は各種HPの情報をまとめた

2. 県の制度紹介

- ① ITパスポート取得支援補助金
- ② リスキリング推進宣言制度
- ③ 人材開発支援助成金活用支援補助金

① I T パスポート取得支援補助金

■ 補助対象者

次の要件を全て満たす県内企業等のうち、リスキリング推進宣言企業

【要件】

- 県内に本社又は支社等を有すること
- 下記①又は②に該当すること

- ① 法人税法上の普通法人、公益法人等及び協同組合等
- ② 普通法人、公益法人等、協同組合等又はこれらの代表者が加入する産業支援団体等



■ 補助対象経費・補助限度額

資格手当

対象経費：県内企業等が従業員等へ試験合格に際し支払った資格手当

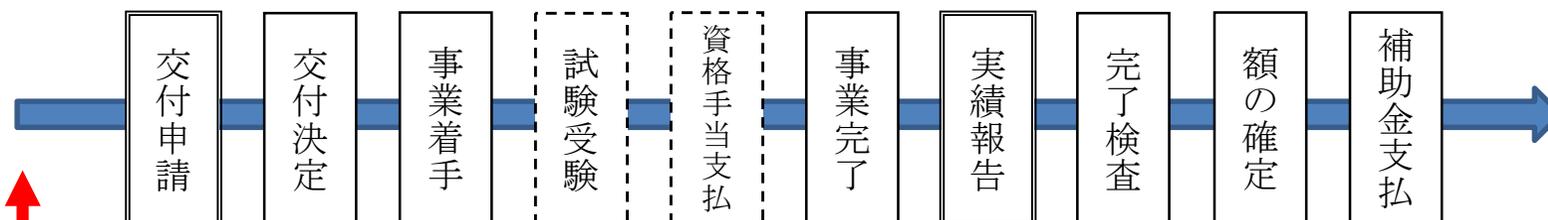
対象者・金額：試験に合格した役員(大企業除く)及び従業員

最大20,000円/人(大企業は最大10,000円/人)

I Tパスポート取得支援補助金の活用スケジュール等



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま



《出典》広島県 I Tパスポート取得支援補助金Q & Aから抜粋

(必要に応じて)事前に
リスクリング推進宣言
※手続きに1週間前後

<注意事項>

■ 交付申請について

- 試験申込・受験する前に、必ず事前に交付申請
- 交付決定通知を受けてから、事業着手(試験申込・受験等)

■ 受験日について

- 12月～3月:受験者数の増加により、受験申込枠が埋まる可能性が高まる
⇒受験時期を早めたり、事前に申込をしておくなどをおすすめ

②リスキリング推進宣言制度



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

■ 目的・概要

県内企業等が、社内だけではなく、対外的にもリスキリング(人材育成)に取り組むことを宣言することで、県内でのリスキリング推進の機運の向上を図る。

■ メリット

- ・企業イメージの向上
- ・県HP等への掲載による認知度の向上
- ・ITパスポート取得支援補助金の受験料補助の要件

■ 宣言方法

- ①リスキリング推進宣言書を作成
- ②企業等のホームページや代表者個人のSNS等に掲載
- ③県に申請書を提出

《リスキリング推進宣言書》

The image shows a sample of a "Risking Promotion Declaration Form" (リスキリング推進宣言書). The form is enclosed in a yellow border and contains the following elements:

- At the top center is the RS logo with the text "広島県リスキリング推進宣言書" (Hiroshima Prefecture Risking Promotion Declaration).
- Below the logo is the title "リスキリング推進宣言書" (Risking Promotion Declaration Form) in a large, bold font.
- Underneath the title is a line for the company name, "〇〇株式会社" (〇〇 Co., Ltd.).
- A paragraph of text states: "当社は、従業員のリスキリングを推進することを宣言し、下記事項に取り組みます。" (Our company declares to promote risking for employees and will engage in the following items).
- Below this text is a box labeled "取組内容" (Engagement Content) with a numbered list from 1 to 5, currently empty.
- At the bottom right, there is a space for the date and signature: "20〇〇年〇月〇日 〇〇株式会社 代表取締役〇〇" (2000 year 0 month 0 day, 00 Co., Ltd., Representative Director 00).

■ 宣言内容

県内企業等が取り組む内容を「宣言書」に自由に記載。

宣言内容の例

- ・ ○○と○○を導入して働き方改革を進め、社員の学ぶ時間を確保します。
- ・ 受験料支援制度と資格手当制度を創設し、○○年までに全従業員が○○資格を取得できるようサポートします。
- ・ 自己啓発制度を創設し、年間○円まで学習費用を支援します。
- ・ 社内公募制を導入し、従業員が学んだことを発揮するチャレンジを後押しします。

Q&A、実施要領、宣言書のフォーマット等は県HPをご覧ください。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcm-reskilling/sengen-seido.html>



③人材開発支援助成金活用支援補助金



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

■ 補助対象者

国の人材開発支援助成金の支給対象事業者のうち、以下の要件を満たす企業・団体
(要件)・県内に本社や支社等を有すること

- ・リスキリング推進宣言企業であること

■ 対象経費

人材開発支援助成金(人への投資促進コース・事業展開等リスキリング支援コース)の活用にあたり、訓練実施計画届の提出時と支給申請届の提出時の申請業務等を、社会保険労務士等に外部委託して支払った報酬のうち、

- ・広島労働局へ申請する申請書類及び添付資料等の作成に要する経費
- ・広島労働局への代行申請に要する経費

■ 補助率・補助限度額

補助率:4/5、補助限度額:50万円

Q&A、補助金交付要綱、申請様式等は、県HPをご確認ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcm-reskilling/jinkaikinjojokin.html>



ご不明な点等があれば、お気軽にお問合せ下さい。

【お問い合わせ先】

広島県商工労働局人的資本経営促進課

リスキリング推進グループ

☎ 082-513-3414

✉ syojinkei@pref.hiroshima.lg.jp



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>

(参考) 情報系国家試験の体系



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

ITの利用者

ITの安全な利活用を推進する者

情報セキュリティ
マネジメント試験

全ての社会人

ITパスポート試験

情報処理技術者

ITストラテジスト試験

システムアーキテクト試験

プロジェクトマネージャ試験

ネットワークスペシャリスト試験

データベーススペシャリスト試験

エンベデッドシステムスペシャリスト試験

ITサービスマネージャ試験

システム監査技術者試験

情報処理安全確保支援士試験

高度な
知識・技能

応用的
知識・技能

基本的
知識・技能

応用情報技術者試験

基本情報技術者試験

《出典》独立行政法人情報処理推進機構HP

(参考) ITパスポート試験の活用事例 A

■ 株式会社ファンケル（代表取締役 社長執行役員 CEO 島田和幸 様） - ITパスポートを活用し、DXに取り組む



DXの推進に必要なのが、社員のITリテラシーの向上。システム部門だけでなく、ITを事業に生かす主体である事業部門や、IT戦略と事業戦略を統合する経営層も含め、社内全体でデジタルを理解する姿勢が欠かせません。同社代表取締役の島田和幸さんは、2020年夏に若手社員からiパスの存在を聞き、活用を即断。「経営戦略や法務の要素も押さえつつ、デジタルの専門知識が充実している点がいい」ですね。個人的にはIT用語を覚えるのは気が重かったのですが（笑）、これくらいはわからないとDXを推進できないと意を決しました」

役員と全社員の合格を目標に掲げ、テキストと受験料は会社が提供するiパス合格支援を開始するとともに、島田社長自身も勉強に励み、2020年末に見事iパスに合格。わずか2年あまりで対象社員（約1,500名）の5分の1もの社員がiパス合格者となりました。

全社的なiパス合格によってデジタルへの理解がより深まり、事業部門、システム部門、経営層が一体となってDX推進に取り組む基盤を確立してきた同社。ITを活用した顧客との絆づくりが評価され、2021年には経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定。

島田社長は「お客様とのコミュニケーションもデジタルの比重が増えつつあります。今やデジタルの素養がないと仕事にならないのです」と力説。

《出典》独立行政法人情報処理推進機構HP

(参考) ITパスポート試験の活用事例 B

■ 株式会社ニトリホールディングス（組織開発室長 人材教育部マネージャー 永島 寛之 様） - 組織全体のITリテラシーの底上げのためITパスポートを導入

現在、テクノロジーの変化を把握し、競争時代を勝ち抜く組織づくりのためには、ITリテラシー人材とIT人材が不足しています。そこで、iパスを組織全体のITリテラシーの底上げのために取り入れました。全社員がITの基礎を理解することで、ユーザーの立場からエンジニアとコミュニケーションができる人材に成長できると考えています。またiパスには、ビジネス全般の基礎が凝縮されており、業務を効率的・効果的に推進するための知識が学べます。

そのため弊社では、5年後を目標に、社員約5,000人全員がiパスに合格できるよう取り組んでいます。

iパス合格者には、社内職能資格試験において加点することを検討しています。また、バウチャー受験により合格・不合格だけではなく、個人スコアを会社側が把握できるため、今後の人事配転などの参考にする予定です。企業としては、セキュリティ面やマネジメント面の底上げにつながればうれしく思いますが、iパスで学んだことで気づきが増え、店舗などの現場でもテクノロジーを意識した問題解決力の幅が広がることも期待しています。



■ 株式会社オリエントコーポレーション



金融ビジネスにITは必要不可欠であるため、全社員のITリテラシー向上に注力している。特にITパスポート試験は全社員に取得を推奨しており、取得者に対して、学習費用の一部補助や奨励金の支給を実施するなどITリテラシー向上に向けた支援をしている。また、若手層のITリテラシー強化を重要テーマと位置付け、新卒入社社員に対して、内定時から学習テキストを配布し、入社1年目での資格取得を求めている。ITパスポートの取得を通じて、テクノロジーだけでなく、ストラテジー、マネジメントの3分野の知識を習得することで、ビジネスパーソンとしての基礎力強化にも繋げている。

(参考) ITパスポート試験 受験者数の推移 (全国)



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

受験者に占める社会人の割合
67%(2014) → 83%(2022)



《出典》独立行政法人情報処理推進機構HPのデータを加工

■ 過去の出題例①

<ITに関する出題例>

ト 2 回 ㄥ 1 回 ㄹ 1 回

問1 ランサムウェアによる損害を受けてしまった場合を想定して、その損害を軽減するための対策例として、適切なものはどれか。

- ア PC内の重要なファイルは、PCから取外し可能な外部記憶装置に定期的にバックアップしておく。
- イ Webサービスごとに、使用するIDやパスワードを異なるものにしておく。
- ウ マルウェア対策ソフトを用いてPC内の全ファイルの検査をしておく。
- エ 無線LANを使用するときには、WPA2を用いて通信内容を暗号化しておく。

問2 テレワークを推進しているある会社では、サテライトオフィスを構築している。サテライトオフィスで使用するネットワーク機器やPCを対象に、落雷による過電流を防止するための対策を検討した。有効な対策として、最も適切なものはどれか。

- ア グリーンITに対応した機器の設置
- イ サージ防護に対応した機器の設置
- ウ 無線LANルータの設置
- エ 無停電電源装置の設置

(参考) ITパスポート試験 出題例

■ 過去の出題例②

<IT以外に関する出題例>

シヤ固 エヨ固 志景

問3 A社のある期の資産、負債及び純資産が次のとおりであるとき、経営の安全性指標の一つで、短期の支払い能力を示す流動比率は何%か。

単位 百万円

資産の部		負債の部	
流動資産	3,000	流動負債	1,500
固定資産	4,500	固定負債	4,000
		純資産の部	
		株主資本	2,000

ア 50 イ 100 ウ 150 エ 200

問4 年齢、性別、家族構成などによって顧客を分類し、それぞれのグループの購買行動を分析することによって、集中すべき顧客層を絞り込むマーケティング戦略として、最も適切なものはどれか。

ア サービスマーケティング イ セグメントマーケティング
ウ ソーシャルマーケティング エ マスマーケティング